学校番号	１２０７

平成 31 年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「書Ⅱ」　（光村図書）						
副教材等	最新　標準漢字三体　（日本書写教育研究会）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

■書道Ⅰで学習したことを踏まえ、より発展的な書を学ぶ。
■1 学期には篆書・隷書を中心に学び、2 学期は刻字作品（拓本）・カレンダー作成、3 学期にはかなの書を学びます。
■筆遣いや作品制作にも慣れ、自分の表現を見つけて表すことができるようになってほしいと思います。
■身近に飾れる作品を作ることで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てます。

2　学習の到達目標

書道Ⅰで学習したことをふまえて書の歴史と結びつけながら、多様な筆遣いを学ぶ。
書道の創造的な諸活動を通して、書を愛好する。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察 レポート ワークシート	観察 レポート ワークシート 提出作品	観察 レポート ワークシート 提出作品	観察 レポート ワークシート 提出作品

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

月	題材名	学習内容・活動	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4	書写と書道 (書道Ⅰの復習) 文房四宝	・国語科書写と芸術科書道(復習) ・書写・書道の違いについて意識調査	○	○	○		a:書写と書道の類似点・相違点を再確認し、今後の学習に意欲的に取り組もうとしている。 b: 姿勢や執筆法の基本を理解している。 c: 書道の類似点・相違点について理解し、さまざまな書のよさを味わうことができる。	観察 ワークシート
5 6	漢字の書(篆書) 半切1/3	・篆書体の歴史、特徴 ・篆書体の用筆法 ・現在の隷書・篆書の身近な存在(伝統) ・半切1/3への収め方について	○	○	○	○	a:篆書を通してその美と表現技法について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:書体の基本的な用筆方法を理解し、身につけて表している。 c:逆筆と蔵鋒を学び、表現しようとしている。 d:画仙紙への収め方を学び、文字を収めようとしている。	観察 ワークシート 提出作品
6 7	漢字の書(隷書) 半切1/3 半切作品	・隷書体の歴史、特徴 ・隷書体の用筆法 ・芸文祭作品つくり ・半切への収め方について ・押印する ・相互鑑賞会	○	○	○	○	a:隷書を通してその美と表現技法について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:書体の基本的な用筆方法を理解し、身につけて表している。 c:逆筆と波磔を学び、表現しようとしている。 d:画仙紙への収め方を学び、文字を収めようとする。またそのよさや美しさを味わうことができる。	観察 レポート ワークシート 提出作品
8	漢字の書(硬筆)ペン字テキスト	・楷書・行書・草書	○	○	○		a:書道Ⅰで学んだことを基盤に特に行書を身に付け、その向上に努めようとしている。 b:書道Ⅰで身に付けた基礎的な能力を生かして表現を工夫している。 c: 日常生活の硬筆の書の効用について理解し、そのよさを味わうことができる。	観察 提出作品

9 10	工芸の書 （篆刻）	・語句の選定・文字調べ ・印稿作成 ・石に転写・刻す	○		○	○	a:語句の選定をし、草稿を作り、板に写して彫る・拓をとることに関心を持ち意欲的に取り組もうとしている。 c: 全体の構成を工夫し、個性を活かした表現技能を身につけ表している。 d:様々な石や印影を鑑賞し、そのよさや美しさを味わうことができる。	観察 ワークシート 提出作品
11 12	漢字かな交じりの書 （カレンダー作り）	・語句の選定・文字調べ ・草稿作成(鉛筆) ・半紙練習その後、清書(作品用画箋紙) ・作品をカレンダーに貼って仕上げる		○		○	b:構成を考え工夫している。 d:古典の美や書体の特徴などを分析的に理解し表現効果などの美しさを感じ取ることができる。	観察 ワークシート 提出作品
1 2	かなの書 （単体・連綿） 変体仮名	・連綿の書き方(ワークシート) ・色紙においての散らし書き	○	○		○	a:墨色・散らし書きに関心を持ち、積極的に表現技法を高めようとしている。 b: 平仮名の筆使いについて理解し、表現を工夫している。 d:自らの意図に基づいて工夫している。	観察 レポート ワークシート 提出作品
3	色紙作品を作ろう	・色紙作品制作 語句 の選定 文字調べ ・草稿作成 半紙による作品制作 後色紙への清書、押印 ・自分の作品について工夫した点やポイント記入	○	○		○	a: ２年間の総まとめの作品に関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている b:各書体のよさを感じ取り、作品の意図を明確にし、表現を工夫している。 d:互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを感じ作品に思い入れを持つことができる。	

※　表中の観点について　a:書への関心・意欲・態度　　b:書表現の構想と工夫
　　c:創造的な書表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。